

令和2年度（2020年）

# 年報

山口県文書館

## 目 次

I	概要		9	地方調査員	16
1	沿革	2	(1)	地方調査員会議	16
	(1) 設立	2	(2)	地方調査員の文書調査報告実績	16
	(2) 年表	2	(3)	地方調査員名簿	16
2	組織	10	10	広報・普及	17
3	決算	10	(1)	広報活動	17
4	施設	10	(2)	第15回中国四国地区アーカイブズ ウィーク	17
			(3)	資料小展示	17
II	令和2年度業務報告		(4)	古文書基礎講座	18
1	2年度概観	11	(5)	古文書専修講座	18
2	収蔵状況	12	(6)	古文書実践講座	18
3	調査	12	(7)	古文書入門一日教室・ 読み合わせ会	18
4	収集	12	(8)	文書館活用講座	18
	(1) 諸家文書	12	(9)	SNS上でのくずし字解説	18
	(2) 行政文書	13	(10)	歴史的公文書等の保存活用のため の連絡会議	18
	(3) 行政資料	13	(11)	行政文書保存管理研修会	18
	(4) 図書雑誌	13	(12)	ウェブサイト	18
	(5) その他(特設文庫)	13	11	研究活動	19
5	整理	13	(1)	研究実績	19
	(1) 藩政文書	13	(2)	研究会等	19
	(2) 諸家文書	13	III	令和3年度の計画	
	(3) 行政文書	13	1	業務	20
	(4) 行政資料	13	(1)	保存対策	20
	(5) 図書雑誌	14	(2)	刊行物	20
	(6) その他(特設文庫)	14	(3)	普及活動	20
6	保存対策	14	(4)	その他	20
	(1) 修理(行政文書)	14	2	職員	21
	(2) 資料燻蒸	14	3	地方調査員	21
7	利用	14	4	当初予算	21
	(1) 文書館利用状況	14			
	(2) ホームページ利用者数	14			
	(3) 調査室(閲覧室)利用者数	14			
	(4) 閲覧者数の状況	15			
	(5) 閲覧文書点数の状況	15			
	(6) 特別利用の状況	15			
	(7) 貸出	16			
8	刊行物	16			
	令和2年度の刊行物	16			

# I 概要

## 1 沿革

### (1) 設立

当館は、昭和34年4月に日本で初めての公立文書館として発足した。設立には、次の要因があった。

- ① 昭和27年に旧萩藩主毛利家から藩政に関する「毛利家文庫」約5万点の史料が県に寄託され、同文庫の保存と公開の措置をとる必要があった。
- ② 昭和12年に設けられた県史編纂所（終戦時に閉鎖）において収集・謄写した史料3千点の保存と利用を望む声があった。
- ③ 県立山口図書館は、明治36年の開館以来、郷土資料室の充実につとめて多くの原文書を収蔵しており、その効率的な利用が望まれていた。
- ④ 県立山口図書館郷土資料室には、県政発足以来の行政文書も収蔵されており、今後の継続的な行政文書の収集・保存・活用を図る必要があった。

これらの要望を充たす施設として、文書館の設立構想が立てられた。さらに山口県地方史学会による設立運動も行われ、昭和34年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく県条例によって設置された。

### (2) 年表

昭和34年度 (1959)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
34.4.1	山口県文書館設置条例により県教育委員会の一組織として設立される
10.1	専任職員が配置される
12.18	書庫増築工事竣工（山口図書館）、引継文書の移管作業を開始
昭和35年度 (1960)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
35.4.1	閲覧業務を開始する
8.1	三浦家文書受託
11.30	「防長風土注進案12 山口宰判上」刊行
36.3.10	「防長風土注進案16 吉田宰判」刊行
昭和36年度 (1961)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
36.5.16	田中義一文書受託
6.15	「山口県文書館概要」刊行
6.15	「防長風土注進案1 大島宰判上」刊行
8.31	「防長風土注進案15 舟木宰判」刊行
10.30	山口県政発足九十年記念「明治初期県政史料展」開催
11.10	「防長風土注進案13 山口宰判下」刊行
12.10	「防長風土注進案2 大島宰判下」刊行
37.1.31	「防長風土注進案17 美祢宰判」刊行
3.30	「萩藩四冊御書附」刊行
昭和37年度 (1962)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
37.4.20	「防長風土注進案3 奥山代宰判」刊行
6.30	「防長風土注進案4 前山代宰判」刊行
8.8	徳山毛利家文庫受託
9.20	「防長風土注進案19 前大津宰判」刊行
11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料展」開催（～11.9）
11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料解説目録」刊行
12.10	「防長風土注進案5 上関宰判上」刊行
12.14	県庁行政文書年末収集開始

38. 2.10	「防長風土注進案 18 先大津宰判」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 1」刊行
<hr/>	
昭和38年度 (1963)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
38. 4. 1	県行政文書の移管を開始（「山口県文書取扱規程」に基づく）
6.30	「防長風土注進案 6 上関宰判下」刊行
8.31	「防長風土注進案 7 熊毛宰判」刊行
10.25	国体開催記念展「目で見る山口県の歴史」を開催（～11.3）
10.25	「目で見る山口県の歴史」刊行
12. 19	山内家文書受託
39. 1.31	「防長風土注進案 20 当島宰判」刊行
3.10	「防長風土注進案 8 都濃宰判」刊行
3.26	山口県文書館条例が公布される（施行 39.4.1）
3.26	山口県文書館規則が改正される（施行 39.4.1）
3.31	山口県文書館設置条例が廃止される
<hr/>	
昭和39年度 (1964)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>—7.5—木原立美<図書館長兼務>)
39. 5.31	「防長風土注進案 9 三田尻宰判上」刊行
7.20	「防長風土注進案 11 徳地宰判」刊行
9.20	「防長風土注進案 21 奥阿武宰判」刊行
10.17	近世交通史料展開催（～10.18）
12.10	「防長風土注進案 14 小郡宰判」刊行
40. 3.10	「防長風土注進案 10 三田尻宰判下」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 2」刊行
<hr/>	
昭和40年度 (1965)	(館長 木原立美<図書館長兼務>)
40.6.1	山口県文書館規則一部改正
6.29	県教育委員会行政文書の移管を開始（「山口県教育委員会事務局文書取扱規程」の改正に基づく）
9.20	「文書館ニュース 1 号」刊行（以後年刊）
11.10	「豊浦藩村浦明細書」刊行
11.10	「文書館案内」刊行（以後不定期刊行）
41.3.30	「防長風土注進案研究要覧」刊行
<hr/>	
昭和41年度 (1966)	(館長 兼清正徳)
41. 4. 1	山口県政史の編纂事業開始
5.10	廨に指定される
10.25	大村益次郎文書受託
11. 3	「防長風土注進案」の編集スタッフ、西日本文化賞を受賞
42. 3.30	「萩藩閥閥録 第 1 巻」刊行
<hr/>	
昭和42年度 (1967)	(館長 兼清正徳)
43. 3.30	「萩藩閥閥録 第 2 巻」刊行
<hr/>	
昭和43年度 (1968)	(館長 兼清正徳)
43. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員の職名が専門員となる
<hr/>	
昭和44年度 (1969)	(館長 兼清正徳)
44. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員に研究職が適用される（職名は研究員・専門研究員）
45. 3.30	「萩藩閥閥録 第 3 巻」刊行
<hr/>	
昭和45年度 (1970)	(館長 兼清正徳)
45. 4. 7	日本育英会法施行令の規定による研究所施設に指定される
46. 3.25	「山口県政史上・下」2巻刊行

3.30	「萩藩閥閥録 第4巻」刊行	
3.30	「萩藩閥閥録遺漏」刊行	
昭和46年度 (1971)		(館長 兼清正徳)
46.6.7	文部省史料館主催「近世史料担当職員講習会(西日本地区)」の会場となる	
7.1	地方調査員制度を発足させる	
47.3.1	「山口県文書館研究紀要 第1号」刊行(以後年刊)	
昭和47年度 (1972)		(館長 松村茂)
47.10.30	「山口県文書館史料目録3」刊行	
48.3.20	「山口県史料古代編」刊行	
昭和48年度 (1973)		(館長 松村茂)
48.7.23	新館舎が完成し、現在地に移転する	
7.23	新築移転記念「山口県文書館史料展」開催(～8.18)	
49.3.1	「山口県内所在史料目録 第1集」刊行(以後年刊)	
昭和49年度 (1974)		(館長 松村茂)
49.5.20	「山口県文書館史料目録4」刊行	
50.1.1	成人大学古文書解読講座に協力(以後平成11年度まで)	
昭和50年度 (1975)		(館長 田村武文)
51.1.20	「山口県史料近世編 法制上」刊行	
2.24	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(通称全史料協)の創立大会を開催	
昭和51年度 (1976)		(館長 田村武文)
52.1.10	「山口県史料近世編 法制下」刊行	
2.24	古文書・行政文書取扱者講習会(第1回)を開催	
昭和52年度 (1977)		(館長 田村武文)
53.2.22	古文書・行政文書取扱者講習会(第2回)を開催	
3.30	「山口県文書館史料目録5」刊行	
昭和53年度 (1978)		(館長 田村武文)
54.3.20	「山口県史料中世編 上」刊行	
3.20	「山口県行政文書仮目録戦前の部」刊行	
昭和54年度 (1979)		(館長 木梨亮一)
54.4.～11.	「萩藩閥閥録第1・2・3・4巻・遺漏」再版刊行	
5.～3.0	山口県古文書等所在確認緊急調査を実施	
10.17	全国都道府県史協議会を開催(～10.18)	
昭和55年度 (1980)		(館長 高佐原茂郷)
55.6.17	有光家文書受贈	
昭和56年度 (1981)		(館長 平田豊彦)
57.2.20	「防長寺社由来 第1巻」刊行	
昭和57年度 (1982)		(館長 松本隆馬)
57.10.20	「防長寺社由来 第2巻」刊行	
58.2.20	「防長寺社由来 第3巻」刊行	
3月	「防長風土注進案と同和問題」刊行	
昭和58年度 (1983)		(館長 山下義雄)
58.11.1	古文書解読(基礎)講座を開催(以後平成17年度まで)	
12.26	「防長寺社由来 第4巻」刊行	
59.2.20	「防長寺社由来 第5巻」刊行	
3.31	「両公伝史料仮目録」刊行	

昭和59年度 (1984)		(館長 山下義雄)
59. 6.12	県庁舎竣工記念展「目でみる萩から江戸へ」開催 (13日間)	
60. 1.16	「防長寺社由来 第6巻」刊行	
3.26	山口県文書館条例改正 (施行 60.4.1)	
3.26	山口県文書館規則改正 (施行 60.4.1)	
3.30	「県庁伝来旧藩記録等仮目録」刊行	
昭和60年度 (1985)		(館長 宮本幹雄)
60. 4. 1	副館長が置かれる (山口県教育委員会行政組織規則改正 60.3.29)	
10.29	有光家文書が県指定有形文化財に指定される	
61. 2.10	「防長寺社由来 第7巻」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅰ」刊行	
昭和61年度 (1986)		(館長 宮本幹雄)
61.10.15	「萩藩閥閥録 第1巻」三版刊行	
62. 1.10	「萩藩閥閥録 第2巻」三版刊行	
1.30	「府県史料 山口県 1」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅱ」刊行	
昭和62年度 (1987)		(館長 宮本幹雄)
62. 6.30	「萩藩閥閥録 第3巻」三版刊行	
11.11	「萩藩閥閥録 第4巻」三版刊行	
63. 1.14	「府県史料 山口県 2」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅲ」刊行	
昭和63年度 (1988)		(館長 斎藤 博)
63. 7.11	「萩藩閥閥録遺漏」三版刊行	
11.30	「府県史料 山口県 3」刊行	
64. 1. 2	「萩藩閥閥録 別巻」刊行	
3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅰ」刊行	
3.30	「山口県文書館要覧」刊行	
3.30	「年報」刊行 (以後年刊)	
平成元年度 (1989)		(館長 那須 敬)
元. 9.16	開館30周年記念展示会「むら・まち・うら」開催 (～10.15)	
10.10	開館30周年記念「絵図でみる防長の町と村」刊行	
11.30	「府県史料 山口県 4」刊行	
12. 3	開館30周年記念司馬遼太郎講演会「歴史の中の防長二州」開催	
2. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅱ」刊行	
3.30	開館30周年記念「山口県文書館の30年」刊行	
平成2年度 (1990)		(館長 那須 敬)
2. 4.11	皇太子浩宮殿下山口県中世史研究のため来館	
11.30	「府県史料 山口県 5」刊行	
3. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅲ」刊行	
平成3年度 (1991)		(館長 那須 敬)
3.11.30	「府県史料 山口県 6」刊行	
4. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅳ」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 1940年代-1950年代」刊行	
平成4年度 (1992)		(館長 松永精一郎)
4. 5. 0	古文書専修講座を毎月開催 (以後毎年)	
6.22	有光家文書が国指定重要文化財 (古文書) に指定される	

8.13	古文書活用講座を開催（～8.19、以後毎年）
5.3.31	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅴ」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1940年代完結簿冊文書」刊行
平成5年度（1993）	（館長 松永精一郎）
6.3.31	「山口県文書館諸家文書目録1 柳井市金屋小田家文書第1分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録2 リーフレット・ポスター1940年代～1960年代」刊行
平成6年度（1994）	（館長 山本 直）
7.3.31	「山口県文書館諸家文書目録2 柳井市金屋小田家文書第2分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1930年代完結簿冊文書」刊行
平成7年度（1995）	（館長 山本 直）
8.3.29	「山口県文書館諸家文書目録3」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録3 地図 1950年代まで」刊行
平成8年度（1996）	（館長 宮本典彦）
8.6.25	山口県文書館整備構想検討会を開催（以後8.23、9.12、10.15の計4回開催）
11.20	山口県文書館整備構想検討会報告書作成
9.3.31	「山口県文書館諸家文書目録4」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1910・20年代完結簿冊文書」刊行
平成9年度（1997）	（館長 宮本典彦）
9.2.1	企画小展示「毛利元就関係文書」開催（～12月、毎月展示替え）
4.30	「大内版妙法蓮華経板木」が県指定有形文化財に指定される
10.2.1	文書館利用規程を改正
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録4 1960年代第1分冊」刊行
3.31	「山口県文書館諸家文書目録5 佐藤家文書」刊行
平成10年度（1998）	（館長 宮本典彦）
10.4.21	古文書入門講座を毎月開催（以後毎年）
6.30	「大内版法華経板木」59枚が国指定重要文化財（歴史資料）に指定される
11.1.21	第1回文書館ウィーク開催（～1.27）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録5 1960年代第2分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊1 公儀事諸控総目次Ⅰ」刊行
平成11年度（1999）	（館長 宮本典彦）
11.4.1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修研究委員会事務局を引受け
12.1.20	第2回文書館ウィーク開催（～1.27）
3.23	山口県文書館規則第3条第1項改正（但書削除、土曜日全日開館）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録6 1960年代第3分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊2 公儀事諸控総目次Ⅱ」刊行
平成12年度（2000）	（館長 青木正典）
12.4.1	土曜日全日開館（9:00～17:00）を開始
13.1.18	第3回文書館ウィーク開催（～1.24）
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録 1900年代以前完結簿冊文書」刊行
平成13年度（2001）	（館長 青木正典）
14.1.18	第1回文書館デイズ開催（～1.20）
3.29	「山口県文書館諸家文書目録6 上関町吉田家文書」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録7 1960年代第4分冊」刊行
平成14年度（2002）	（館長 青木正典）
14.4.1	文書館資料保存修復事業・館藏品情報発信事業に着手（緊急雇用創出事業）

12.20	「山口県文書館特設文庫目録1 新聞文庫目録(近代)」刊行
15.1.17	第2回文書館デイズ開催(～1.19)
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録8 1940年代以前」刊行
3.31	山口県文書館ホームページ更新(文書館・博物館・美術館情報発信事業)
平成15年度(2003) (館長 村松優一)	
15.4.1	文書館収集資料整理事業に着手(緊急雇用創出事業、～16年度)
16.1.23	第3回文書館デイズ開催(～1.25)
2.10	「山口県文書館特設文庫目録2 雑誌文庫目録(近代)」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊3 諸事小々控総目次I」刊行
3.31	ホームページに画像データベース(毛利家文庫絵図・写真・袋入絵図・ポスター・リーフレット)を追加
平成16年度(2004) (館長 村松優一)	
16.10.27	第30回全史料協全国大会及び研修会を山口県総合保健会館で開催(～10.29)
10.29	山口県教育委員会事務局等公文書取扱規定の一部改正(11.1施行)
17.1.21	第4回文書館デイズ開催(～1.23)
3.31	「山口県文書館諸家文書目録7 上関町国行家・佐倉谷家・吉崎家文書」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録9 地図 1960年代」刊行
平成17年度(2005) (館長 木原 宏)	
17.6.9	山口県行政文書(県庁文書12,597点、郡役所文書952点)が国指定重要文化財(歴史資料)に指定される
6.10	第5回文書館デイズ開催(～6.12)
18.1.20	第1回「山口お宝展」(重要文化財「大内版法華経板木」を展示)開催(～2.12)
2.28	「毛利家文庫目録別冊4 諸事小々控総目次II」刊行
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録5 一郡役所文書」刊行
平成18年度(2006) (館長 木原 宏)	
18.6.1	第1回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県文書館史料刊行事業展」・「備後山内氏と一豊をめぐる人々」開催(～6.7)
10.8	日曜開館(月曜閉館)を試行開始
11.10	第6回文書館デイズ「御屋形様の文書ー雪舟のパトロン大内氏ー」開催(～11.12)
19.1.19	第2回「山口お宝展」(吉田松陰所用の印章)開催(～2.18)
3.30	「毛利家文庫目録別冊5 諸事小々控総目次III」刊行
3.30	「行政資料目録10 リーフレット・ポスター 1970年代～1980年代」刊行
3.30	「山口県内市町村役場文書保存状況調査報告書」刊行
平成19年度(2007) (館長 熊寄歳介)	
19.4.1	日曜開館(月曜閉館)開始
6.1	第2回中国四国地区アーカイブズウィーク「街道を行く」開催(～6.7)
10.4	徳山毛利家文庫・将軍発給文書を公開(閲覧提供)開始
11.5	国文学研究資料館アーカイブズ・カレッジ〈短期コース〉の会場となる(～11.10)
20.1.18	第3回「山口お宝展」(村上水軍関係文書)開催(～2.17)
3.31	「諸家文書目録8 平生町佐合島佐川家文書 第1分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録1 山口県布達達書I ー明治4～10年ー」刊行
平成20年度(2008) (館長 熊寄歳介)	
20.6.1	第3回中国四国地区アーカイブズウィーク「吉田松陰自賛肖像」開催(～6.8)
10.1	資料小展示「天璋院篤姫と長州ー文書の中の篤姫ー」(～11.16)
21.1.17	大学入試センター試験・日本史Aで当館のことが取り上げられる
3.21	第4回「山口お宝展」(鎌倉時代の塩浜絵図ー長門国正吉郷入江塩浜絵図ー)開催(～



## 4.19)

3.31 「諸家文書目録 9 平生町佐合島佐川家文書 第 2 分冊」刊行

3.31 「行政文書件名目録 2 山口県布達達書Ⅱ -明治 11~14 年-」刊行

平成21年度 (2009)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	開館 50 周年記念として、資料小展示を「シリーズ アーカイブズを守る」という共通テーマで実施
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)
21. 6. 2	開館 50 周年記念として、第 4 回中国四国地区アーカイブズウィーク「天下人と毛利氏-戦国のアーカイブズ-」を開催 (～6.9)
21.11.17	当館所蔵「吉田松陰関係資料」754 点が山口県指定有形文化財 (歴史資料) に指定
22. 3. 3	大内氏山口開府 650 年「山口お宝展」協賛展示 (「足利将軍の出した文書」～4.4)
3.31	「山口県文書館所蔵アーカイブズガイド-幕末維新編-」(開館 50 周年記念出版) 刊行
平成22年度 (2010)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)
22. 6. 1	第 5 回中国四国地区アーカイブズウィーク「長州藩幕末維新資料」を開催 (～6.6)
8.8	行政文書保存管理研修会を開催 (102 機関 114 名参加)
10.15	国指定重要文化財 (歴史資料)「日明貿易船旗」と「高洲家文書」118 点が当館に寄託される
2.18	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (13 市町 30 名参加)
3.31	「行政文書件名目録 3 山口県布達達書Ⅲ -明治 15~19 年-」刊行
平成23年度 (2011)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度～平成 25 年度)
23. 6. 1	第 6 回中国四国地区アーカイブズウィーク「ポスター・写真・映像に見る昭和のやまぐち～昭和 38 年山口国体のころ～」を開催 (～6.5)
8.19	行政文書保存管理研修会を開催
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
11.14～ 2.29	館改修工事につき全面休館
3.31	ウェブページを全面的に更新し、検索データベースの件数を大幅に増やした
平成24年度 (2012)	(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度～平成 25 年度)
24. 6. 1	第 7 回中国四国地区アーカイブズウィーク「絵図と古文書で歩く萩往還」を開催 (～6.10)
9.10	行政文書保存管理研修会を開催
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
1.31	毛利家文庫遠用物 (近世後期) の整理を終了し、8,933 点の閲覧提供を開始
平成25年度 (2013)	(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度～平成 25 年度)
25. 6. 1	第 8 回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県災害記」を開催 (～6.9)
10.1	1950 年代行政文書の閲覧提供開始
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (12 市町、県ほか 35 名参加)
3.15	徳山毛利家文庫絵図の整理を終了し、224 点の閲覧提供を開始

平成26年度 (2014)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
26.5.31	第 9 回中国四国地区アーカイブズウィーク「美術とアーカイブズ～古文書に見る防長の美術工芸品～」(～6.8)	
6.13	1960 年代文書の閲覧提供開始	
9.2	1970 年代文書の閲覧提供開始	
10.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
11.7	行政文書保存管理研修会	
平成27年度 (2015)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
(通年)	全史料協 (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会) の調査・研究委員会事務局を引き受け (委員会 : 5/14 山口市、9/10 岡山市、11/11 大仙市) (～平成 28 年度)	
27.6.2	第 10 回中国四国地区アーカイブズウィーク「文書館動物記～書庫に棲む動物たち～」(～6.7)	
10.30	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
1.19	行政文書保存管理研修会	
平成28年度 (2016)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
(通年)	全史料協 (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会) の調査・研究委員会事務局を引き受け (委員会 : 5/11 山口市、9/1 山口市、11/9 津市) (平成 27 年度～)。また 8.31 に「平成 28 年度公文書館機能普及セミナーin 山口」を「歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議」と併せて開催	
28.6.1	第 11 回中国四国地区アーカイブズウィーク「いやす なおす たもつ～文書館資料にみる病気・医療・健康～」(～6.5)	
8.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (平成 28 年度公文書館機能普及セミナーin 山口)	
1.17	行政文書保存管理研修会	
3.27	徳山毛利家文庫 幕閣発給文書の閲覧提供を開始	
平成29年度 (2017)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 29 年度～平成 31 年度)	
29.4.1	WEB 版明治維新資料室を開始 (県立山口図書館と共同)	
.6.1	第 12 回中国四国地区アーカイブズウィーク「防長と海 ～その記録と記憶～」(～6.11)	
10.30	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (平成 29 年度中国・四国地区文書館等職員連絡会議と合同開催)	
10.30	当館蔵「朝鮮通信使記録」13 点をふくむ「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記憶」に登録される	
11.24	行政文書保存管理研修会	
平成30年度 (2018)		(館長 吹屋哲夫)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 29 年度～平成 31 年度)	
30.6.1	第 13 回中国四国地区アーカイブズウィーク「文書館レキシノオト～「音」で読み解く防長の歴史」(～6.10)	
5.28	行政文書保存管理研修会	
10.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
3.22	徳山毛利家文庫「木箱別置文書」の閲覧提供を開始	

令和元年度（平成31年度・2019） （館長 吹屋哲夫）

- （通年） 重要文化財 山口県行政文書修理事業（平成 29 年度～令和元年度）
- 01.6.1 第 14 回中国四国地区アーカイブズウィーク・山口県文書館開館 60 周年記念  
「情報と記録～つたえる つなぐ 文書館～」を開催（～6.9）
- 7.16 行政文書保存管理研修会
- 10.31 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
- 3.5～26 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉館

令和 2 年度（2020） （館長 吹屋哲夫）

- （通年） 重要文化財山口県行政文書修理事業（平成 29 年度～令和 2 年度）  
旧市町村役場文書保存状況追跡調査
- 4.14～5.24 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉館
- 5～03.2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定したすべての古文書講座を中止  
（02.9～10、03.1、オンラインでの古文書講座を試験的に実施。計 6 回）
- 5.30～6.7 新型コロナウイルス感染拡大防止のため第 15 回中国四国地区アーカイブズウィーク  
「レッツエクササイズ～武芸・体育・スポーツと文書館資料～」関連行事をすべて中止
- 6.1 Twitter、Facebook を開始
- 10.30 第 11 回歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催

2 組織（令和 2. 4. 1 現在）

館長（1 名）	——	副館長（1 名）	——	専門研究員	（5 名）
				総務	（兼務、2 名）
				会計年度職員	（3 名）
				地方調査員	（8 名）

3 決算（一般会計、単位:千円）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
13,696	12,467	13,045	13,603	12,568	7,655

4 施設

県立山口図書館・点字図書館等と併設、構造は RC

敷地面積 10,169 m<sup>2</sup>、延べ床面積 9,819 m<sup>2</sup>

文書館面積 1,232 m<sup>2</sup>（利用者ゾーン 209 m<sup>2</sup>、業務ゾーン 235 m<sup>2</sup>、書庫<地下 2 層・新書庫>）

図書館面積 7,855 m<sup>2</sup>、点字図書館面積 190 m<sup>2</sup>、レクチャールーム面積 542 m<sup>2</sup>

書架総延長 本館書庫 6.31km、春日山書庫 3.00km、計 9.31km

## II 令和2年度業務報告

### 1 2年度概観

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時閉館期間を設けたほか、主要行事の多くを中止せざるをえなかった。その一方で、館公式の Facebook、Twitter を始めたほか、オンラインサービスの拡充に努めた。また、平成16～18年度に実施した旧・前市町村役場文書調査から15年が経過したことをふまえ、その後の状況を確認するため、旧市町村役場文書の保存状況追跡調査を行った。今年度の状況を概観すれば以下のとおりである。

#### アーカイブズウィーク

5月30日～6月7日に第15回中国四国地区アーカイブズウィーク「レッツエクササイズ～武芸・体育・スポーツと文書館資料～」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべての関連行事を中止した。→P17

#### 調査活動

地方調査員制度による県内史料所在調査への協力助言等を行った。  
また、旧市町村役場文書の保存状況追跡調査を行った。→P12・16

#### 諸家文書の寄贈・寄託

13家から追加分を含めて1,775点の寄贈・寄託を受けた。→P12

#### 行政文書・資料の引継ぎ

県庁各課等から行政文書726点、行政資料1,787点を引き継いだ。→P13

#### 整理・保存対策

寄贈・寄託を受けた新収諸家文書の整理を進め、整理の終わったものについては逐次閲覧に供した。また藩政文書、行政文書、行政資料、図書の整理も進めた。→P13・14  
資料の活用と保存を図るため、行政文書のうち損傷の顕著なものについて修理を行った。  
→P14

#### 普及啓発事業

(1)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた各古文書講座、文書館活用講座を中止した。

##### ①古文書講座

「古文書基礎講座」「専修講座」「実践講座」（年間各10回）の3講座を中止→P18

##### ②文書館活用講座

教員対象の「授業で使える 文書館活用講座」を中止。→P18

(2)歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、10月30日に第11回連絡会議を開催した。→P18

(3)行政文書保存管理研修会

学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会が新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止されたため、実施しなかった。→P18

(4)SNSアカウントの開設、SNS上でのくずし字解説（ちょこっとくずし字）、古文書オンライン講座の試験実施など、オンラインサービスの拡充に努めた。→P18

## 利用者

新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館期間があり、また、緊急事態宣言に伴う県外利用者への利用自粛を要請したこともあり、今年度の閲覧者は1,002人（昨年度1,328人）、また、資料小展示の観覧者などを加えた入館者は2,390人（昨年度4,054人）に止まった。

閲覧者は一般、学生、公務員、教員の順に多い。県外利用者は全体の1/5に止まった（前年度は1/3）。

→P14・15

## 2 収蔵状況

(令和3.3.31現在)

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
93,512	160,529	80,851	159,501	45,274	22,768	562,435

上記のうち、2年度新たに収蔵した資料の点数は、次のとおりである。

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
0	1,775	726	1,787	578	25	4,891

## 3 調査

3月4日	山口県産業技術センター所蔵文書調査
3月16日	久保家文書調査（長門市油谷）・宮ノ台耕地整理組合文書調査 （長門市俵山）
7月17日～ 3月25日	旧市町村役場文書の追跡調査（17市町105箇所）。調査結果の概要は『山口県文書館研究紀要』第48号に報告。

## 4 収集

### (1) 諸家文書

#### (ア) 寄贈

恵良宏収集文書	27点
大野毛利家文書	245点
小山家文書（追加）	83点
竹中家文書	9点
多田穂波収集文書（追加）	138点
内藤家文書（光市）	1点
藤山一雄文書	944点

(計1,447点)

#### (イ) 寄託

大本氏収集文書（追加）	56点
熊谷家文書（追加）	83点
兄部家文書	74点
波多野家文書（光市）	21点
増野家文書（追加）	5点
山根家文書（山口市）	89点

(計328点)

(2) 行政文書

各課（所）に廃棄予定文書の引継依頼・協議を行い、726点を引き継いだ。引き継いだ文書の主なものは以下のとおり。

道路整備課	106点
社会教育・文化財課	33点
岩国農林水産事務所	105点
山口博物館	324点

(3) 行政資料

冊子・リーフレット・ポスター類	1,787点
-----------------	--------

(4) 図書雑誌

578点

(5) その他（特設文庫）

次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。

・一般郷土史料	25点
---------	-----

## 5 整理

(1) 藩政文書

(ア) 徳山毛利家文庫

未整理の徳山毛利家文庫の整理をすすめた。

(2) 諸家文書

次の文書を整理し、仮目録を作成した。

恵良宏収集文書	27点	コレクション
大野毛利家文書	245点	萩藩士（一門）
大本氏収集文書（追加）	56点	コレクション
熊谷家文書（追加）	83点	萩藩士（寄組）
兄部家文書	74点	商家
小山家文書（追加）	83点	教員／軍人
竹中家文書	9点	軍人（砲兵）
多田穂波収集文書（追加）	138点	コレクション
内藤家文書（光市）	1点	武家
波多野家文書（光市）	21点	大内氏家臣／勘場医
藤山一雄文書	944点	満州国官僚／新生運動
増野家文書（追加）	5点	萩藩陪臣（永代家老益田家臣）
山根家文書(山口市)	89点	桑名藩士／甲州流軍学／図書

（計 1,775点）

(3) 行政文書

令和2年度収集文書726点について整理し、仮目録を作成した。

(4) 行政資料

令和2年度収集資料1,787点について整理し、仮目録を作成した。

(5) 図書雑誌

令和2年度受入図書 578 点について、追加登録した。

(6) その他（特設文庫等）

令和2年度収集資料 25 点について整理し、追加登録した。

## 6 保存対策

(1) 修理（行政文書）

重要文化財山口県行政文書のうち損傷の著しい2冊（県庁戦前 A 士族 144「士族願伺」および県布達類 316「山口県報」）を修理工房宰匠株式会社（福岡県筑紫野市）に業務委託し修理した（国庫補助事業 県 50%）。

(2) 資料燻蒸

県立山口博物館の燻蒸に併せて、同館の燻蒸庫で3回実施した。

## 7 利用

(1) 文書館利用状況

開館日数 246 日（前年度 256 日）

入館者 2,390 人（前年度 4,054 人）

閲覧者 1,002 人（前年度 1,328 人）であった。

このうち、閲覧者の内訳と閲覧文書点数の状況は、以下（4）及び（5）のとおり。

(2) ホームページ利用者数

平成 15 年 4 月から供用を開始したホームページのアクセス件数は、令和2年度末現在で 2,266,815 件（この1年間では 598,264 件）となった（明治維新資料室アクセス数を除くと、全体で 2,051,432 件、1 年間では 382,881 件）。

(3) 調査室（閲覧室）利用者数

区分	入館者	閲覧者	特別使用区分	複写	絵図室	特別室	合計
R 02年度	2,390	1,002	R 02年度	742	71	9	822
(R01年度)	(4,054)	(1,328)	(R01年度)	(947)	(130)	(84)	(1,161)

## (4) 閲覧者数の状況

職業		令和2年度				令和元年度	
		県内(人)	県外(人)	合計(人)	比率(%)	合計(人)	比率(%)
教員	大学	65	49	114	12.8	161	14.7
	小・中・高校	9	2	11		11	
	その他	2	1	3		7	
学生	大学院	13	36	49	29.6	82	22.9
	大学・その他	232	16	248		284	
公務員	国	5	0	5	17.7	1	21.6
	都道府県	61	10	71		60	
	市町村	92	9	101		153	
博物館・研究機関		6	14	20	2.0	53	1.6
報道・出版		17	1	18	1.8	33	4.5
その他一般		300	62	362	36.1	483	34.7
合計		802	200	1,002	100.0	1328	100.0
前年度比(%)		88.0	48.0	75.5	—	71.9	—
S44年以来の累計				101,532	—	100,530	—

## (5) 閲覧文書点数の状況

区分	令和2年度		令和元年度	
	点数(点)	比率(%)	点数(点)	比率(%)
毛利家文庫	3,261	40.7	8,304	53.2
徳山毛利家文庫	185	2.3	421	2.7
県庁伝来旧藩記録	235	2.9	322	2.1
山口小郡宰判記録	10	0.1	15	0.1
三卿伝史料	33	0.4	175	1.1
両公伝史料	167	2.1	300	1.9
行政文書	868	10.8	1,426	9.1
郡役所文書	107	1.3	144	0.9
行政資料	209	2.6	163	1.0
諸家文書	2,174	27.2	2,979	19.1
県史編纂所史料	49	0.6	118	0.8
一般郷土史料	141	1.8	132	0.8
その他特設文庫	186	2.3	40	0.3
複写資料	350	4.4	1,028	6.6
図書	31	0.4	35	0.2
その他	1	0.1	5	0.1
合計	8,007	100.0	15,607	100.0
S44年以来の累計	1,038,573	—	1,030,566	—

## (6) 特別利用の状況

区分	特別閲覧	複写	出版物等掲載	模造品製作	貸出	レファレンス件数
R02年度	29	742	269	0	3	656
(R01年度)	(39)	(947)	(284)	(0)	(11)	(796)



(7) 貸出

大阪歴史博物館	特別展「埋忠 桃山刀剣界の雄」 (毛利家文庫3点)
福山市鞆の浦歴史民俗資料館	特別展「鞆幕府 将軍足利義昭～瀬戸内・海城・水軍～」 (山内家文書など4点)
山口市歴史民俗資料館	企画展「雲谷庵展 —アトリエからサロンへ—」 (毛利家文庫など5点)

8 刊行物

令和2年度の刊行物

- ① 『山口県文書館研究紀要』第48号 (R03.3.30 発行) A5判 158頁
- ② 『文書館ニュース』第55号 (R03.3.30 発行) A4判 8頁

9 地方調査員

(1) 地方調査員会議

第1回 令和2年7～10月 (地方調査員会議代替調査員紙上報告)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議の開催は見送ったが、これに替わるものとして紙上での情報交換を行った。各地区担当が地方調査員に史料の所在情報や今後の調査予定等について聞き取りを行い (電話・メール等)、その内容をまとめたものを各調査員に配布した。

第2回 令和3年2月4日 県立山口図書館レクチャールーム・オンライン

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県立図書館レクチャールームでの対面会議とオンライン会議システムの併用により会議を実施した。
- ・活動報告
- ・研修「古写真の整理と活用」
  - 「山口県文書館の事例から」 副館長 山崎一郎
  - 「宮本常一写真資料の活用と地域連携」 高木泰伸 地方調査員 (大島地域)
  - 「企画展『古写真の情報をください』について」 若山さやか 地方調査員 (厚狭地域)

(2) 地方調査員の文書調査報告実績

地方調査員から延べ17日、135時間の活動実績報告があった。

(3) 地方調査員名簿 (任期 平成31.4.1～令和3.3.31)

担当地域	氏名	担当地域	氏名
大島	高木泰伸	厚狭	若山さやか
玖珂	惠本洋嗣	豊浦	安富静夫
玖珂	正中克磨	大津	藤井文則
都濃	佐伯 隆	阿武	樋口尚樹

## 10 広報・普及

### (1) 広報活動

- ・『文書館ニュース』第55号（A4判8頁）を発行した。
- ・6月からFacebookとTwitterを開設し、これによる館情報の発信を行った。

### (2) 第15回中国四国地区アーカイブズウィーク

5月30日（土）～6月7日（日）に下記の行事を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止した。

＜アーカイブズ展示＞6月6・7日（文書館閲覧室）

「Let'sエクササイズ ～武芸・体育・スポーツと文書館資料～」

＜歴史探究講座＞6月6日（県立山口図書館レクチャールーム）

「山口県のスポーツ『いま』『むかし』」

「音で振り返るオリンピック」

＜ギャラリートーク＞6月6・7日（文書館閲覧室）

館員によるアーカイブズ展示の解説（計4回）。

＜文書館ってどんなところ＞5月31日・6月4日（県立山口図書館第1研修室・文書館閲覧室）

文書館の活動、所蔵資料の紹介

＜古文書・絵図のあつかい方＞5月31日（県立山口図書館第1研修室・文書館閲覧室）

古文書や絵図のあつかい方、閲覧の仕方について解説

＜アーカイブズ歴史小話＞6月7日（県立山口図書館レクチャールーム）

館員が共通テーマに関する話題をリレー形式で紹介。

＜書庫見学ツアー＞5月30日～6月7日（文書館書庫）

館員の解説による書庫の見学ツアー（計12回）。

### (3) 資料小展示

閲覧室の入口に設置している展示ケースを使用して、以下の小展示を行った。

また、往来自粛等により来館できない利用者へのサービスとして、新たに「Web版小展示」を開始し、小展示終了後、コンテンツをアップした。

期間	展示題目	担当
4・5・6月	新世界を伝える	浅川
7月	島とやまい～大島郡役所文書にみる感染症～	重田
8月	戦前の県体育大会プログラム～山口県のスポーツ いま・むかし～	山本
9月	陶氏の発給文書（1）	和田
10月	萩藩の文書作成ルールー小さな文字で、行数は多く！ー	山崎
11月	記録の貸借～記録をめぐる江戸時代の大名間交流～	吉田
12月	脱 花押 実印を使え	河本
1月	映える！描かれたお国自慢	浅川
2・3月	さくら さくら	重田

- (4) 古文書基礎講座
- (5) 古文書専修講座
- (6) 古文書実践講座
- (7) 古文書入門一日教室・読み合わせ会
- (8) 授業で使える 文書館活用講座

上記講座はコロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止した。

これに伴い、今後のオンラインでの古文書講座開催を念頭に、古文書オンライン講座を試験的に実施した。9月、11月、1月に計6回。

- (9) SNS 上でのくずし字解説（「ちょこっとくずし字」）

各種古文書講座の中止に伴い、初心者が古文書を学ぶ機会を提供することを目的に、SNS 上にくずし字解説「ちょこっとくずし字」を掲載した（8月～令和3年3月）。

- (10) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書館法（昭和62年法律第115号）および公文書管理法第34条（平成21年法律第66号）の趣旨に基づき、県及び県内の市町が保管する公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として実施している。

今年度は10月30日、「実例から考える歴史的公文書の評価・選別」をテーマに行い、市町・県等から16名の参加があった。

- (11) 行政文書保存管理研修会

コロナウイルス感染症拡大防止のため中止された。

- (12) ウェブサイト

①令和元年度公開諸家文書17家・1,111点のデータをDBに追加した

②「資料画像 New！」の開始

絵はがき・古写真・古文書などの画像データ274件を「資料画像 New！」としてアップした（計21回）。画像はDBにも追加した。

③「Web版小展示」の開始

月替わりで実施している資料小展示の情報を「Web版小展示」として新たにアップした。

④「Web古文書」の実施

各種古文書講座が中止となったことに伴い、古文書学習を継続できるコンテンツの提供を目的に、「Web古文書」としてテキストと釈文・解説をアップした。全8回。

## 11 研究活動

### (1) 研究実績（『山口県文書館研究紀要』第48号は『紀要』第48号と略記）

- ・ 山崎一郎  
「明治前期における毛利家の修史事業と毛利敬親の伝記編纂」 （『紀要』第48号）
- ・ 和田秀作  
「毛利家文庫『諸臣』所収の百姓等所持御判物写について」 （『紀要』第48号）  
「史料紹介 手鑑『多々良の麻佐古』（1）」（『山口県立山口博物館研究報告』第47号）  
「吉田兼右『防州下向記』に見える大内氏関係記事」 （『山口県地方史研究』第123号）
- ・ 浅川均  
「古建築に注がれた視線—瑠璃光寺五重塔明治修理—」 （『紀要』第48号）
- ・ 山本明史  
「アーカイブズガイド学校教育編の活用について  
—文書館所蔵資料に親しむためのワークシートの紹介—」 （『紀要』第48号）
- ・ 吉田真夫  
「徳山藩記録所について—明和期、記録所日記の分析から—」 （『紀要』第48号）  
「山口県文書館における旧市町村役場文書の追跡調査について」 （『紀要』第48号）
- ・ 河本福美  
「萩藩の分限帳・無給帳と遠近方」 （『紀要』第48号）
- ・ 重田香澄  
「コロナ禍による活動制限に伴うオンラインサービス拡充について」 （『紀要』第48号）

### (2) 研究会等

- ・ 吉田真夫  
新南陽郷土史会講演会「明和・天明の事件と毛利就剛—館蔵資料から事件を読む—」（12/5）

### Ⅲ 令和3年度の計画

#### 1 業務

##### (1) 保存対策

重要文化財山口県行政文書の修復

##### (2) 刊行物

『山口県文書館年報（令和2年度）』（デジタル刊行）

『山口県文書館研究紀要』第49号の刊行

『文書館ニュース』第56号の発行

##### (3) 普及活動

アーカイブズウィーク（対象 一般県民）

令和3年6月1日～6日

会場 文書館閲覧室、県立山口図書館レクチャールーム、オンライン

#### 古文書講座

古文書入門講座（定員：オンライン20名・対面15名）

会期 令和3年5月～10月の第2土曜日の午前（オンライン）・午後（対面）  
各6回

会場 県立山口図書館研修室・オンライン

対象 一般

古文書基礎講座（定員：オンライン・対面各15名）

会期 令和3年5月～10月の第4土曜日の午前（オンライン）・午後（対面）  
各6回

会場 県立山口図書館研修室・オンライン

対象 一般

古文書錬成講座（定員：オンライン・対面各15名）

会期 令和3年5月～10月の第2土曜日の午前（対面）・午後（オンライン）  
各6回

会場 県立山口図書館研修室・オンライン

対象 一般

古文書発展講座（定員：オンライン・対面各15名）

会期 令和3年5月～10月の第4土曜日の午前（対面）・午後（オンライン）  
各6回

会場 県立山口図書館研修室・オンライン

対象 一般

授業で使える 文書館活用講座

会期 令和3年8月3～6日

会場 文書館・県立山口図書館研修室等

対象 県内の小・中・高・特別支援学校の教員

行政文書保存管理研修会（対象：行政機関の担当者）

歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議（対象：行政機関等の担当者）

##### (4) その他

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協）大会・研修委員会事務局（令和3～4年度）

2 職員（令和 3.4.1～）

所属	氏名	主な担当業務
館長（非常勤）	吹屋哲夫	館務統轄
副館長	山崎一郎	業務総合調整・館内管理・予算決算
専門研究員	和田秀作	諸家文書に関すること
〃	浅川 均	行政文書・行政資料に関すること
〃	山本明史	行政文書に関すること
〃	吉田真夫	藩政文書に関すること
〃	河本福美	行政資料に関すること
（兼）総務管理GL	友景忠孝	総務会計等
（兼）主任	松田晶久	〃
会計年度任用職員	重田香澄	閲覧利用・広報・普及に関すること
〃	廣川智子	閲覧提供業務の補助、文書整理の補助
〃	末廣美都子	〃

3 地方調査員（任期 令和 3.4.1～令和 5.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
大島	高木泰伸	厚狭	若山さやか
玖珂	恵本洋嗣	豊浦	安富静夫
玖珂	正中克磨	大津	永井武司
都濃	佐伯 隆	阿武	樋口尚樹

4 当初予算（単位：千円）

事業費	予算額（千円）	事業概要
文書館運営費	999	運営関係費
文書保存整理刊行費	293	文書の整理等
文化事業費	2,216	古文書講座・文書の修復等
合計	3,508	